

百日咳

どんな病気？



百日咳は百日咳菌の飛沫感染でうつります。普通のかぜのような症状で始まり、続いてせきがひどくなり、小児の典型例では、顔を真っ赤にして連続的にせきこむようになります。熱はあまり出ません。しかし乳幼児はせきで呼吸できず、けいれんがおこることがあり、また肺炎や脳症など重い合併症をおこすこともあります。大人の症状は長引くせき程度ですが、乳幼児への感染源になることもありますので、注意が必要です。

ワクチンの接種対象

百日咳はDPT-V四種混合ワクチン（場合によってはDPT三種混合ワクチン）で予防が可能です、生後3か月からの定期接種となっています。接種回数が4回と多いので、接種忘れに注意してください。